

# Linux 概説 (2)

ファイルとディレクトリ

---

はしもとじょーじ

# Linux におけるデータ管理

---

すべてはファイルとして管理される

- ファイル：

  - 任意のデータに名前をつけ保存したものの

- アプリケーション、周辺機器もファイルとして管理される

ファイルはディレクトリで階層的に管理される

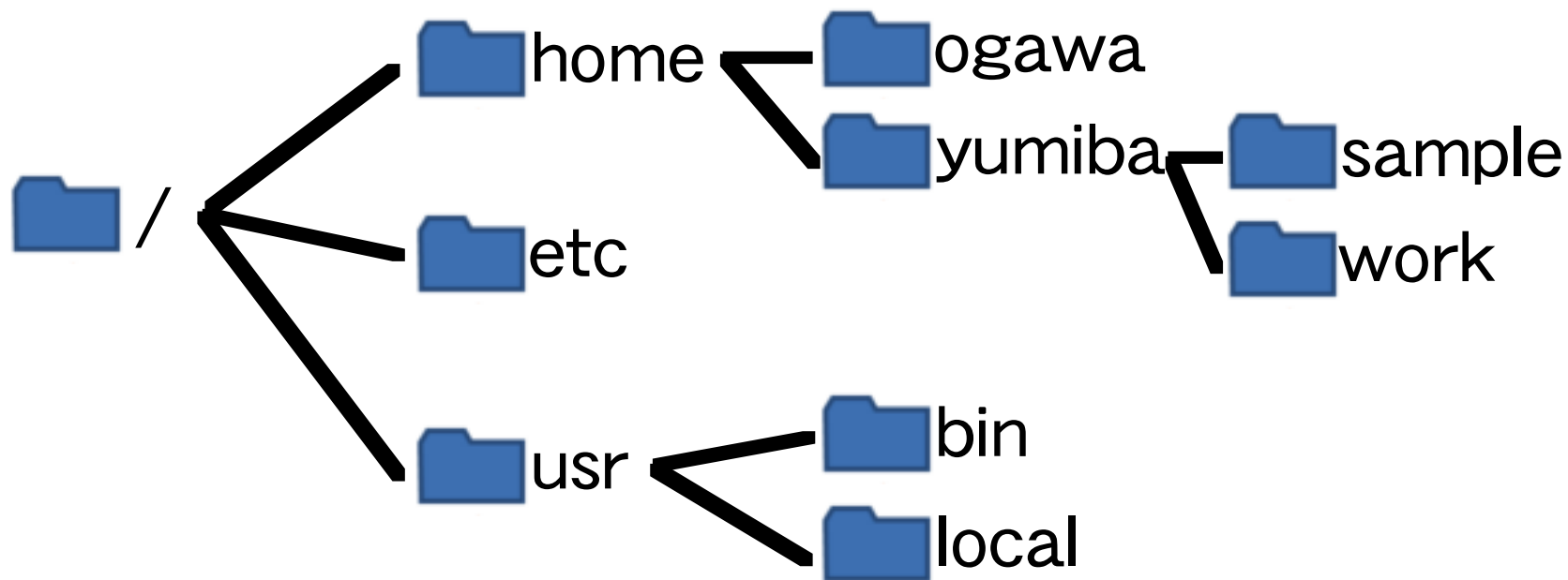
- ディレクトリ：

  - ファイルを格納するファイル

# ディレクトリの階層構造

---

“/” ルートディレクトリを起点とした階層構造



ファイルやディレクトリを意味のあるまとまりにして整理する

# ホームディレクトリ

---

ホームディレクトリはユーザが自由に使用できる領域

- 各ユーザはそれぞれのホームディレクトリを持つ
- 通常, /home の下のユーザー名のディレクトリ

# カレントディレクトリ

---

現在ユーザが作業しているディレクトリ

- ウィンドウズで言うならいちばん手前にある窓
- ユーザはディレクトリを移動することができる(移動のコマンドは“cd”)

# 親ディレクトリ

---

カレントディレクトリの一つ上の階のディレクトリ

# ファイルを指定する方法

---

## 絶対パス

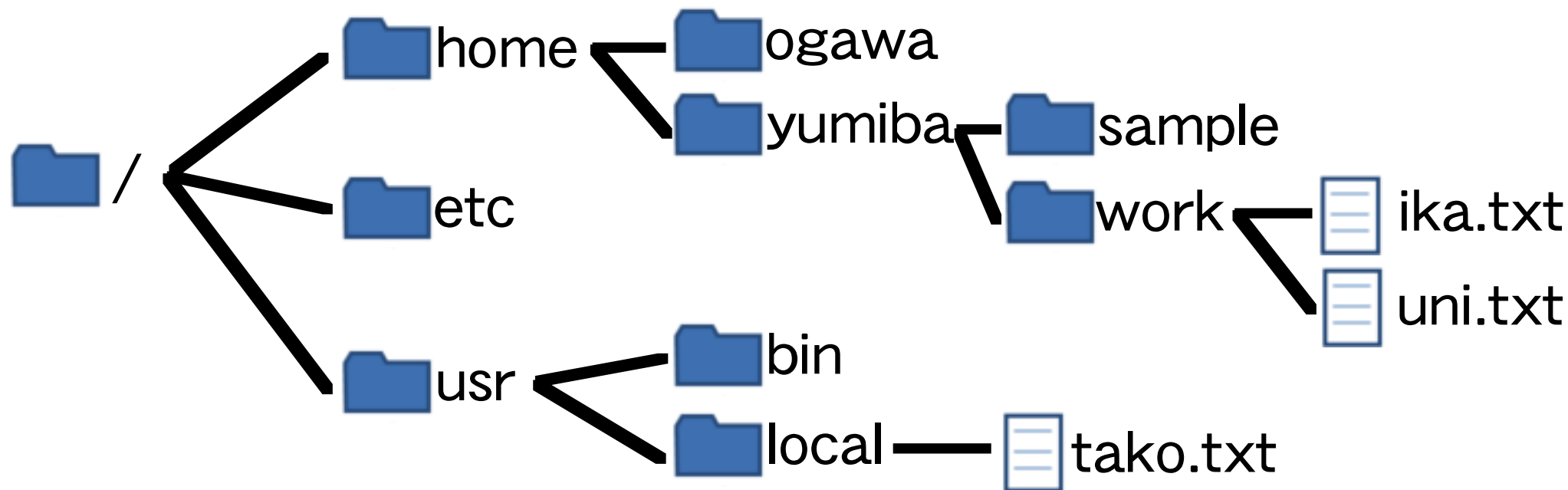
ルートディレクトリを起点にして指定する

## 相対パス

カレントディレクトリを起点にして指定する

# 絶対パスによるファイルの指定

---



## ファイル“ika.txt”を指定する場合

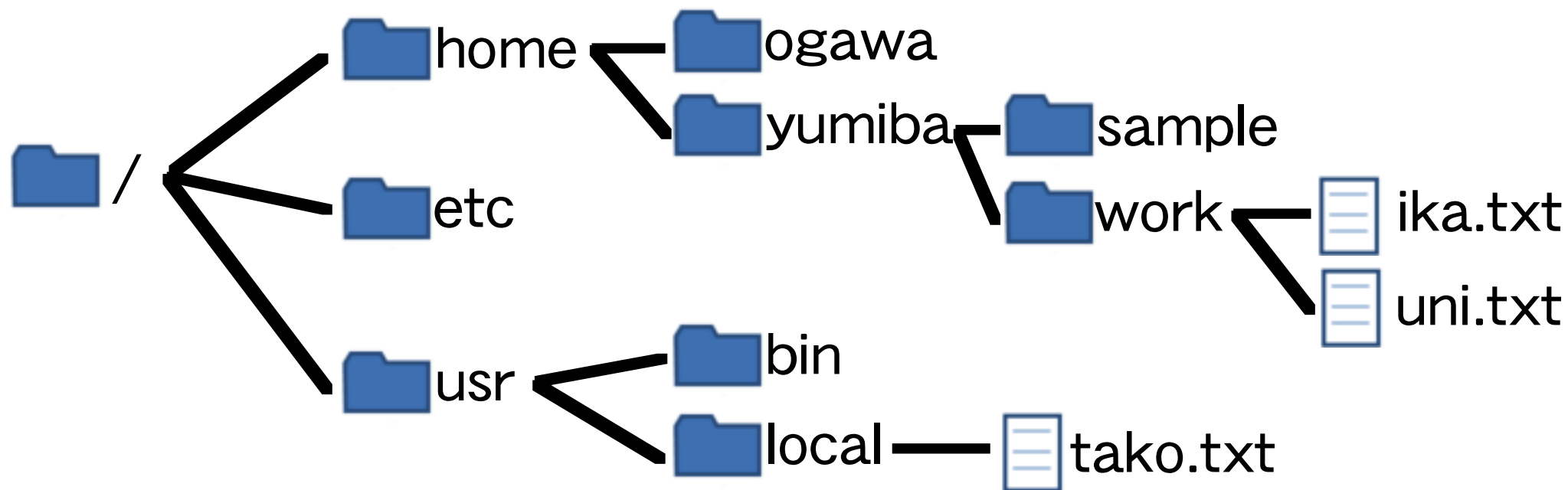
道順： / → home → yumiba → work → ika.txt

結果： /home/yumiba/work/ika.txt



# 絶対パスによるファイルの指定

---



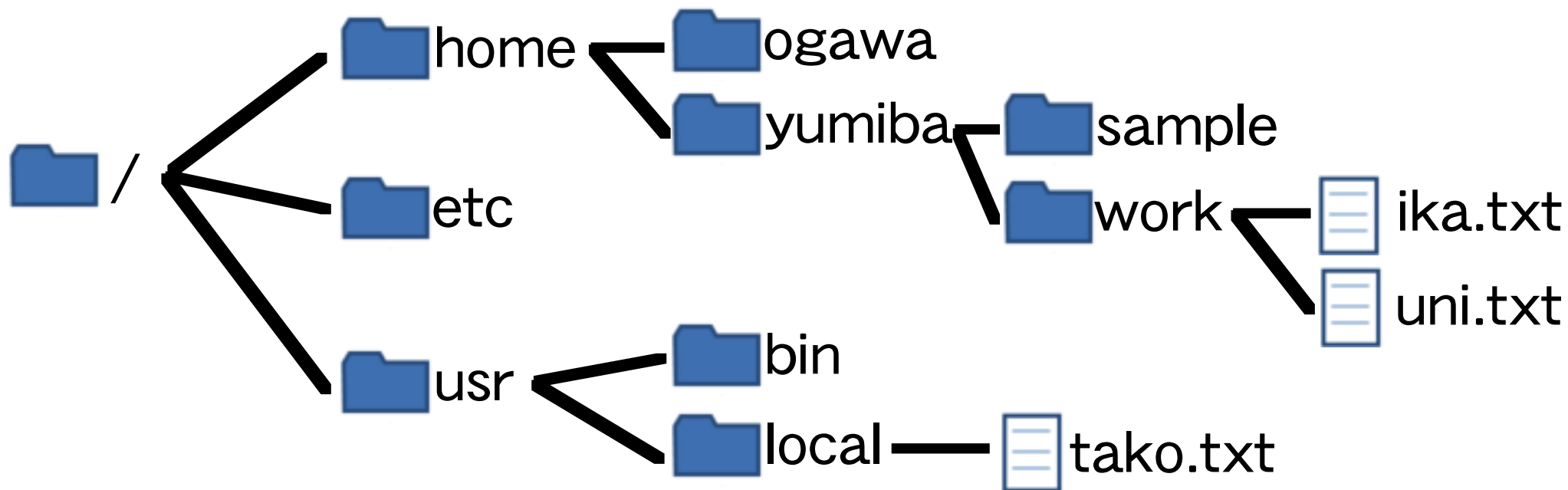
ファイル“ika.txt”を指定する場合

ホームディレクトリ = “~”

結果： ~/work/ika.txt

# 相対パスによるファイルの指定

---



カレントディレクトリ

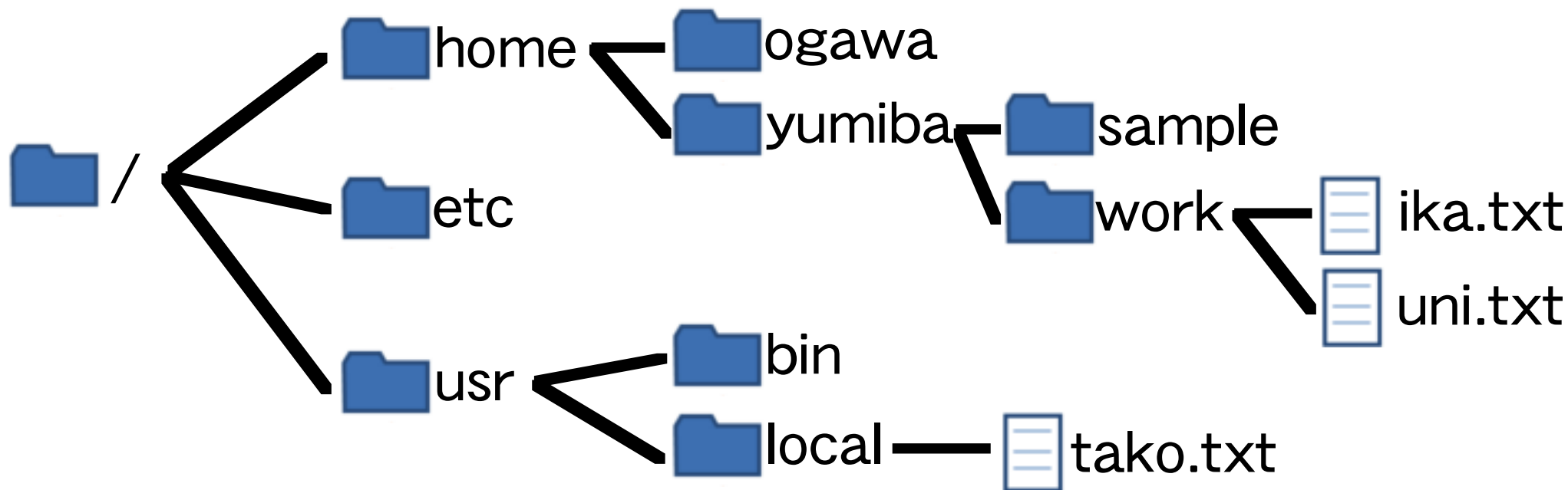
“.” (ドット)

親ディレクトリ

“..” (ドットドット)

# 相対パスによるファイルの指定

---



## ファイル“ika.txt”を指定する場合

現在のディレクトリ=“/home/yumiba/sample”

道順 : sample → yumiba → work → ika.txt

結果 : ../../work/ika.txt